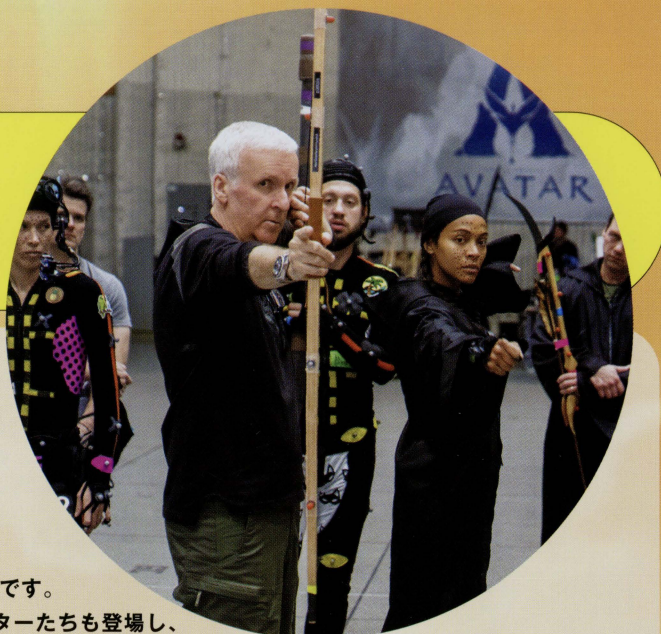


SPECIAL MESSAGE from

『アバター』シリーズ監督・製作・脚本

ジェームズ・
キャメロン



『アバター』を愛する日本の皆さん、こんにちは。
監督のジェームズ・キャメロンです。

長年にわたりこの映画を支持していただき、
心から感謝しています。

皆さんをまたパンドラに招待できるのが待ち遠しいです。
サリーの家族の物語は続きますが、新たなキャラクターたちも登場し、
パンドラの世界がさらに広がります。きっと、予想もしていない形で。
私やスタッフ&キャストにとって、これらの映画を生み出す事は最高の体験です。
映画を愛する皆さんのために、この映画を作っているからです。

劇場での映画体験に勝る魔法はありません。
さあリラックスして、パンドラへの帰還が始まります。

SPECIAL COMMENT from

映画監督

樋口真嗣



ジェームズ・キャメロン先輩は我々のような弱き制作者にいつ
も強い光を投げかけ、導いてきた。希望という名の光だ。

名もなき存在ゆえに限られた予算しか与えられない状況を技術
的アイデアと絵作りのセンスのみで突破し、潤沢な予算を得て更な
る創造の高みを目指す——。

その困難を突破せんとする姿勢を用いて、極東の島国で答えも見
つからぬまま喘ぎ作り続けてきた我々に進むべき道を指し示した
のだ。彷徨える亡者の如き我々はその光を追いかけて追いつこうと
するが、更に高い理想へと飛び越えていき、いつまで経っても追いつ
くことができない——その繰り返しで誰も到達し得ない世界へ
と光は登り続けて、今なお続いている。

そういう存在のことをあまり深く考えてはいなかったけれども、
もしかしたら、おそらく、いや間違いなく‘神’を目指しているのだ

はないか？

神になり理想の世
界を作り上げ、その世界
を彷徨う従者たちの物語
を介して、既存のものでは語
りきれない正しい道を指し示す。

もはや映画の範疇を超えて神話や教典ようになってきている。

もはや俗世の映画には戻れないであろうキャメロン先輩は生涯
を賭して神に近づこうとしている。そしてそれは誰にも止めるこ
とはできない。

ここまできたら、その行先に何が見えるのか、見届けようではな
いか。

もし許されるのであれば、人類最後の3D映画として……。

劇場最新作『アバター：ファイヤー・アンド・アッシュ』公開記念



各1週間限定

『アバター』1&2連続3D上映決定！

アバター

アバター
ウェイ・オブ・ウォーター

9月26日(金)～10月2日(木)

10月3日(金)～9日(木)

『アバター：ファイヤー・アンド・アッシュ』12月19日(金)世界同時公開

© 2025 20th Century Studios. All Rights Reserved.
配給：ウォルト・ディズニー・ジャパン

予告編はコチラ▶



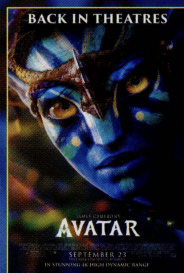
MOVIE WALKER
PRESS

それは「観る」を超えた映像体験 期間限定3Dリマスター劇場上映を見逃すな

『アバター』(2009)

9月26日(金)～10月2日(木)

22世紀。地球から遠く離れた星パンドラで、鉱物資源を求める人間たちと先住民ナヴィの対立が深まりつつあった。人間とナヴィのDNAを組み合わせた肉体<アバター>を用いてナヴィと接触した元海兵隊員のジェイクは、やがて彼らの生き方に共鳴。パンドラの自然を破壊しようとする人間たちに戦いを挑む。



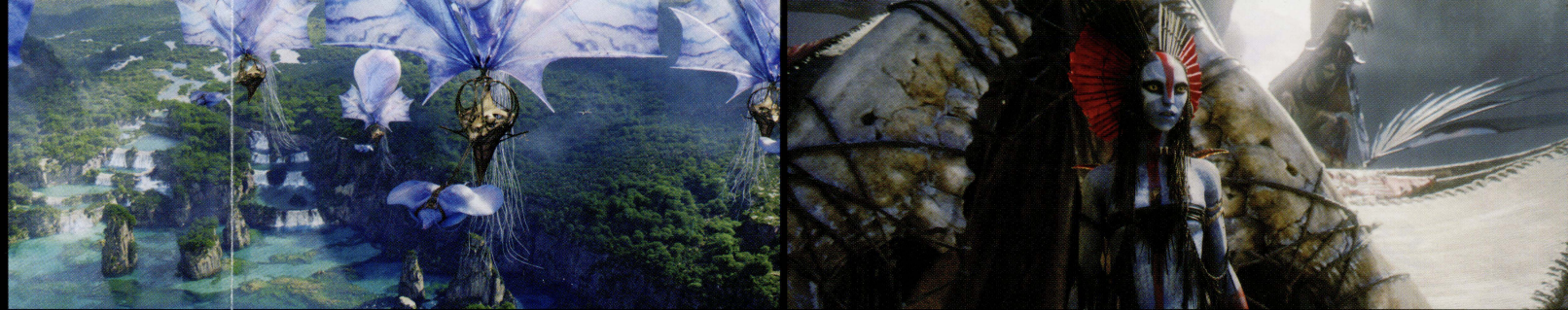
『アバター：ウェイ・オブ・ウォーター』(2022)

10月3日(金)～9日(木)

10年後、ジェイクは妻ネティリと子どもたちとともにパンドラの森で幸せに暮らしていた。しかし、再び人類による侵攻が始まり、ジェイクらは海の一族のもとで身を隠すことに。“海の道”の生き方を学び、海の部族や生物たちと絆を深めていくジェイクたち。だが、人間たちはこの楽園をも破壊しようとしていた。



①エイのような生物がクラゲの気球を運ぶ。
②火口域に住む“アッシュ族”のリーダー、ヴァランがジェイクらの前に立ちはだかる。



ジェームズ・キャメロンが “期待以上”を約束！ 何もかもが新しい 衝撃のアバター

全世界歴代興行収入ランキング第1位の『アバター』(09)。そしてジェームズ・キャメロン監督のもう一つの代表作である『タイタニック』(97)を超え、同ランキングで第3位にランクインする偉業を成し遂げた『アバター：ウェイ・オブ・ウォーター』(22)。名実ともに“人類史最高の映画”である『アバター』シリーズ待望の最新作『アバター：ファイヤー・アンド・アッシュ』がいよいよ12月19日に公開される。

「この新しい冒険は美しいだけではなく、本作では新たな挑戦がありました。新しいキャラクターや、設定、生命体、いままでパンドラでは見たことのないものも出てきますので、きっと気に入っていただけると思います。最新作は皆さんが期待している以上の作品であることを約束します」

そうキャメロン監督が語る最新作には、果たしてどんな驚きが待っているのか。同作公開を記念して再上映が決定した第1&2作を改めて劇場の大スクリーンで楽しみつつ、来たるべき第3作の衝撃と感動に備えたい！

全世界歴代興行収入 No.1&3 人類史上最高の映画

全世界歴代興行
ランキング

1	『アバター』	(2009)	29.23億ドル
2	『アベンジャーズ/エンドゲーム』	(2019)	27.99億ドル
3	『アバター：ウェイ・オブ・ウォーター』	(2022)	23.20億ドル
4	『タイタニック』(ジェームズ・キャメロン監督作品)	(1997)	22.64億ドル
5	『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』	(2015)	20.71億ドル

※Box Office Mojo調べ(2025年8月12日現在/小数点3位以下は切り捨て)

『アバター：ファイヤー・アンド・アッシュ』 シリーズ最新作公開！

